

なぜ議席撤去？ 「議会の常識は市民の非常識」



最初に、上の写真をご覧ください。

みなさん、どう思われますか？

このことに関して、ある議員が言いました。

「前の席が空席になって見栄えが悪い。」

「議員がいっぱい欠席しているのではないかと
思われる。」

※空席が多いのは、かつて議員定数が36であったのが、26名になり（現在1人欠員で25名）その結果のことです。

「空席の机・椅子を撤去したらどうか。」

その撤去費用の見積もりは150万円。他の議員たちの同調し、現在予算要求中。

私は、以下のような理由で、議席撤去（にお金をかけること）に反対しました。

- 1.空席があるのは「（是非はともかくとして）これまでの議員定数削減の努力の結果」であると捉えればいい。
- 2.前席の空席が目立つことを防ぐためには、前から詰めて座ればいい。（今は、後ろから順に詰めて座っている。）
- 3.議席を撤去してしまうと、将来（合併等で）議員定数が増えた時、またお金をかけて議席を増設する必要が出てくる。
- 4.他市町村で実践されている「子ども議会」「市民の議会」として議場を利用する場合、議席数が多い方がいい。
- 5.現状で、質問・議論など議会活動に支障はない。（コストパフォーマンスは0である）しかし、この論理は、議会の中では通りませんでした。今のままでは、来年度予算の中にこれが含まれる可能性が大です。

公開の会議の議事録が黒塗り？

先号のかわらばんでも報告しましたが、上記のように西部広域行政管理組合の公開の会議である「正副管理者会議」の議事録を「情報公開」してみると黒塗りで出てきました。

2016年2月12日西部広域行政管理組合「正副管理者会議」の公開された議事録

うと。その動向を確認しながら手続きを進めていきたいということでした。ちなみに本省に今回会計検査が入りますが、今月の25、26の2日間入る予定で、改めて会計検査の方がどのような対応をされるのかということもありますが、それを見守りながら年度内には正式な結論ができて手続きを進めるということになると思っています。次に2点目でございますが、最終処分場の状況についてでございますが、この説明については、安藤環境資源課長から説明します。

事務司環境資源課長の安藤でございます。よろしく申し上げます。

伏せられた部分は、担当課が一般廃棄物の次期処分場についての検討状況を報告した部分。

※今使っているところは10年後にはイッパイになるので、次期処分場をどうするを現在検討中

市民の常識からは到底承服しがたいので、これを不服として「審査請求」をしました。

まず、書面で双方の主張を述べ、私は審査会で意見陳述をすることにしています。

審査そのものは「情報公開条例」に基づいて議論されるのですが、そのなかで、市民の常識がどこまで通用するのか、試していきます。また、経過報告をしていきます。